

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 8 月 27 日 (2020.8.27)

【公開番号】特開 2019-13654 (P2019-13654A)

【公開日】平成 31 年 1 月 31 日 (2019.1.31)

【年通号数】公開・登録公報 2019-004

【出願番号】特願 2017-134775 (P2017-134775)

【国際特許分類】

A 6 1 N 5/10 (2006.01)

A 6 1 B 5/02 (2006.01)

A 6 1 B 5/16 (2006.01)

A 6 1 B 5/00 (2006.01)

A 6 1 B 5/0245 (2006.01)

【F I】

A 6 1 N 5/10 S

A 6 1 B 5/02 Z

A 6 1 B 5/16

A 6 1 B 5/00 1 0 1 A

A 6 1 B 5/02 7 1 0 A

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 7 月 10 日 (2020.7.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被検体の緊張度合いを表す生体情報を取得する取得部と、
前記取得部により取得された前記生体情報に基づいて、前記被検体の緊張度合いを変化
させる情報を出力する制御部と、
を具備する放射線治療システム。

【請求項 2】

前記制御部は、表示情報、音響情報、照明光、及び、匂いの少なくとも 1 つを、前記被
検体の緊張度合いを変化させる情報として出力する、請求項 1 に記載の放射線治療システ
ム。

【請求項 3】

前記制御部は、前記取得部により取得された前記生体情報が、予め記憶された基準に近
づくよう、前記被検体の緊張度合いを変化させる情報を、前記被検体に向けて出力する、
請求項 1 または 2 に記載の放射線治療システム。

【請求項 4】

治療計画時における前記被検体の緊張度合いを表す生体情報を前記基準として記憶する
記憶部を備え、

前記制御部は、前記取得部により取得された前記生体情報が、前記記憶部に記憶された
前記基準に近づくよう、前記被検体の緊張度合いを変化させる情報を出力する、

請求項 3 に記載の放射線治療システム。

【請求項 5】

前記制御部は、前記取得部により取得された前記生体情報と、前記基準との差に応じて

、警告情報を出力する、請求項 3 または 4 に記載の放射線治療システム。

【請求項 6】

前記制御部は、前記生体情報により表される前記被検体の緊張度合いが前記基準に比して低い場合、前記被検体の緊張度合いを強める情報を出力する、請求項 3 乃至 5 のいずれか一項に記載の放射線治療システム。

【請求項 7】

前記制御部は、前記生体情報により表される前記被検体の緊張度合いが前記基準に比して高い場合、前記被検体の緊張度合いを弱める情報を出力する、請求項 3 乃至 6 のいずれか一項に記載の放射線治療システム。

【請求項 8】

前記生体情報は、単位時間当たりの呼吸数、1 呼吸当たりの所要時間、単位時間当たりの心拍数、体温、温度、血流量、脈波、皮膚電気活動、脳波、筋電図、心電図、血圧及び発汗量の少なくとも一つである、請求項 1 乃至 7 のいずれか一項に記載の放射線治療システム。

【請求項 9】

前記取得部は、放射線治療時に、前記生体情報を繰り返し取得する、請求項 1 乃至 8 のいずれか一項に記載の放射線治療システム。

【請求項 10】

前記制御部は、前記生体情報が前記第 1 の生体情報に比して前記緊張度合いが高い事を示す値である場合、前記被検体の緊張を弱めるために前記表示情報、前記音、前記照明光及び前記匂いの少なくとも一つを制御する、請求項 1 乃至 9 のいずれか一項に記載の放射線治療システム。